

人工知能と生きる子どもたちへ

教頭 尾崎 文則

日ごろから子どもの話をちゃんと聞いているでしょうか。ちゃんと聞くってエネルギーがあるので大変なことですね。でも、学校から帰って来て「楽しかった！」などと話してくれたときに、「よかったね」とだけ返す（それだけでも素敵ですが）のではなく「何が」「どうして」「どうしたの」「他の子は」などと感覚的な言葉を深掘りして聞いてあげて、自分の言葉を豊かにさせていくように導いてあげたらどうでしょうか。子どもの心も満足し、きっと言葉の力もついてくるはずです。昔から子育てには対話が大切と言われ続けて来ました。この当たり前のことを改めて考えさせることができました。

それは、今年、米 Google 社の「AlphaGo(アルファゴ)」という囲碁プログラムがトッププロの棋士に勝利したことです。これ以来、人工知能の急速な進化がネットで話題となっています。そういえば身近なスマホやパソコンに音声アシスタントが載るようになって数年たち、最初は余り使えなかったのが、今は意外な賢さに驚かされます。文字の読めない幼児でもパソコンの操作やネット検索ができるようになっていきます。これも人工知能技術の成果だそうです。ものづくりなど、より実用的な仕事でも劇的な実績を上げているといえます。

大きな筋力が必須だった仕事が機械のおかげで女性などにも門戸が開かれたように、高い「知力」が必要とされた仕事もより多くの方がチャレンジできるようになると予想されます。子ども達はスマホを始めあふれかえる人工知能環境の中で生きていくこととなります。10年後には学習や仕事のやり方もずいぶん変化していることでしょう。

これからどんな能力を伸ばしていけば人工知能を使いこなしてより幸せに生きられるのでしょうか。インターネットを検索してすぐ分かることを知っているだけでは人工知能には及びません。「何を解決したらいいか問題を設定し追求できる人」になることが今以上に大切になるはずです。これこそ人工知能が1番苦手なコトだからです。

そんな力を身につけさせるにはどうしていったら良いのでしょうか。小学生の時からコンピューターのプログラミングを始めていたというメディアアーティストの落合陽一さんは、早期からプログラミングができることにはあまり価値がなく「なぜという疑問を持ち、自分の考えをまとめ上げ、メッセージとして伝えられる」思考体力（言語で考え抜く力）が一番大切だと言います。また、この力を家庭で子どもに身につけさせるには、子どもとの会話を大切に掘り下げた対話をするを薦めています。温故知新とはこのことでしょうか。

「言語は最高の思考ツール」だと言います。まず日本語で深く考える力を日常からつけること

が未来を生きる力を育てる早道なのかもしれません。

落合陽一さん（筑波大学助教）の研究については YouTube や SNS などに驚異的なパフォーマンスの動画や現在進行中の思考が紹介されています。ぜひご覧になってください。

【12月行事予定】		★下校時刻の変更につきましては行事予定欄をご覧ください		
日	曜	行事	保健関係	PTA・子どもセンター
1	木	漢字の博士試験（3年生以上）		Pコーラス練習
2	金	市音楽会（5,6年生）@市民会館、おはなし会（2,4年生）		
3	土			親子もちつき大会,コーラス
4	日			PTA 合唱祭
5	月			
6	火	県学力テスト（4,5,6年）		
7	水	【給食終了後1時20分下校】、城東ブロック人権教育研究発表会		ベルマーク収集 2,5年
8	木	感謝と実りの集会（9時～）、学校開放月間終了		ベルマーク収集 1,6年
9	金			ベルマーク収集 3,4年
10	土			
11	日			
12	月	ダンス体験ワークショップ4年（～14日）		
13	火			
14	水	委員会		
15	木			
16	金	オペラ鑑賞「森は生きている」（こんにやく座、10時20分～）		
17	土			
18	日			
19	月			
20	火			
21	水	給食終了		
22	木	【11時30分下校】、終業式		
23	金	天皇誕生日		
24	土			
25	日			
26	月			
27	火			
28	水			
29	木	年末年始休業開始（～1月3日）		
30	金			
31	土			

3学期,4月当初行事予定

1月6日(金)	始業式、11:30下校
2月9日(木)	新入児入学説明会
2月14日(火)	授業参観、懇談会
2月27日(月)	卒業を祝う集会
3月21日(火)	卒業式
3月24日(金)	終業式
4月10日(月)	1学期始業式
4月11日(火)	入学式